

# はつらつアンケートの調査結果について（概要）

## 1 調査方法

### (1) 調査趣旨

- ① 介護予防の必要性や介護予防事業を周知する。
- ② 健康状態や健康への意識及び終活に向けての意識や備え等、生活状況全般について把握する。
- ③ 要支援・要介護の恐れのある後期高齢者を把握する。

### (2) 対象者

令和元年10月1日現在、要支援・要介護の認定を受けていない75歳から84歳 20,029人

### (3) 調査方法・調査期間

配布及び回収は、郵送により実施し、調査期間は、令和元年11月27日～12月11日

### (4) 調査項目

基本チェックリスト25項目、大友式認知症予測テスト（10項目）、市独自設問（24問）

## 2 調査結果

### (1) 回収数・回収率

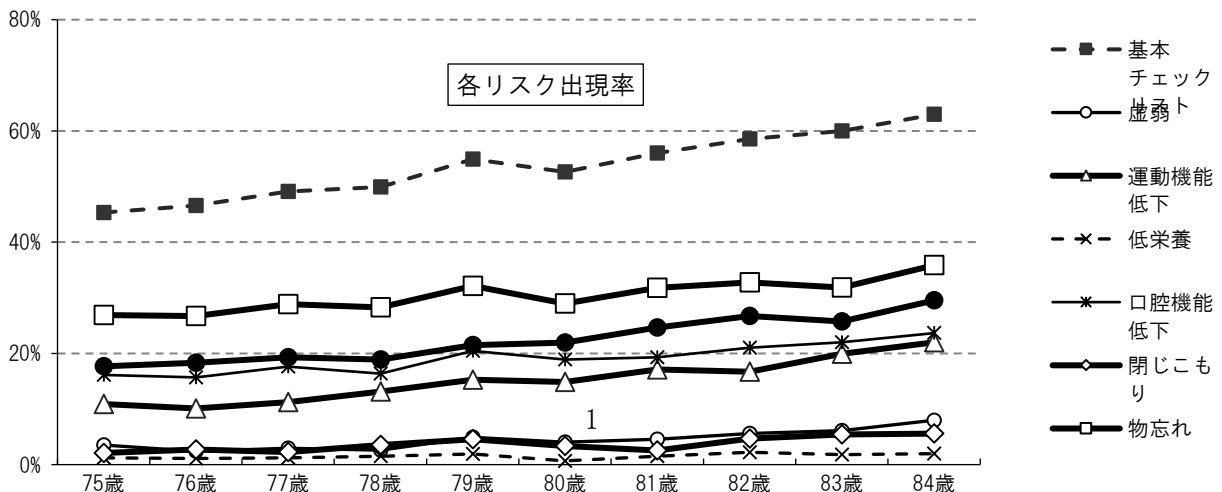
項目		調査対象者数	回収数	回収率	無効数	有効回答者数
市全体		20,029	12,165	62.7%	89	12,076
性別	男性	9,222	5,770	62.6%	43	5,727
	女性	10,807	6,395	59.2%	46	6,349

### (2) はつらつ健康アンケートの結果

特記事項は下記のとおり。

#### ① 基本チェックリストの結果

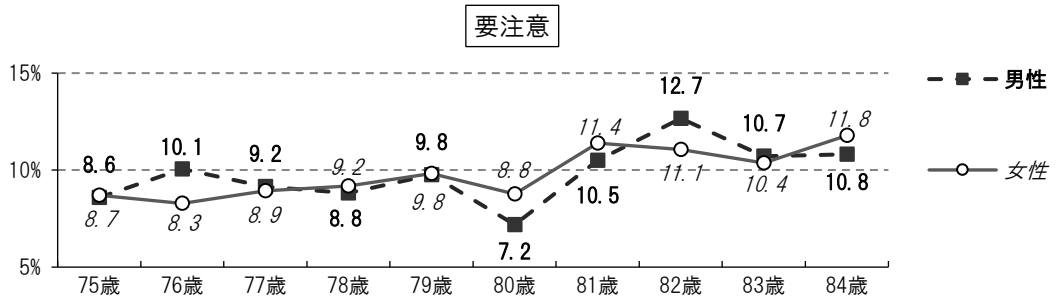
基本チェックリストの該当者は、市全体で52.2%であり、男性50.6%、女性53.7%であった。リスク別出現率は、物忘れリスクが29.8%、うつ傾向リスクが21.5%、運動リスクは14.2%、口腔機能低下リスクが18.5%であった。男女別にみると、運動機能低下リスクは、全ての年齢で女性の方が高く、物忘れリスクは全ての年齢で男性が高い。



② 大友式認知症予測テスト・認知症の心配

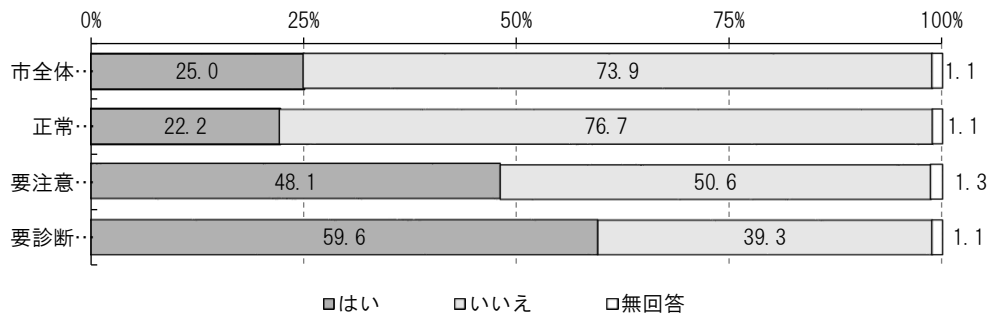
<認知症リスク>

市全体では、89.7%の方が「正常」、9.6%の方が「要注意」、0.7%の方が「要診断」であった。



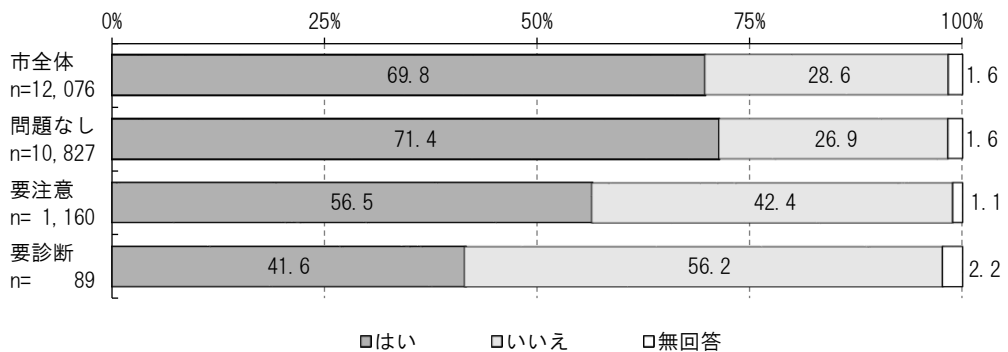
<認知症リスクと咀嚼力の関連>

認知症リスクと固い物が食べにくくなったことは関連があり、認知症リスクが高まるにつれ、固い物を食べられない人の割合が増える。



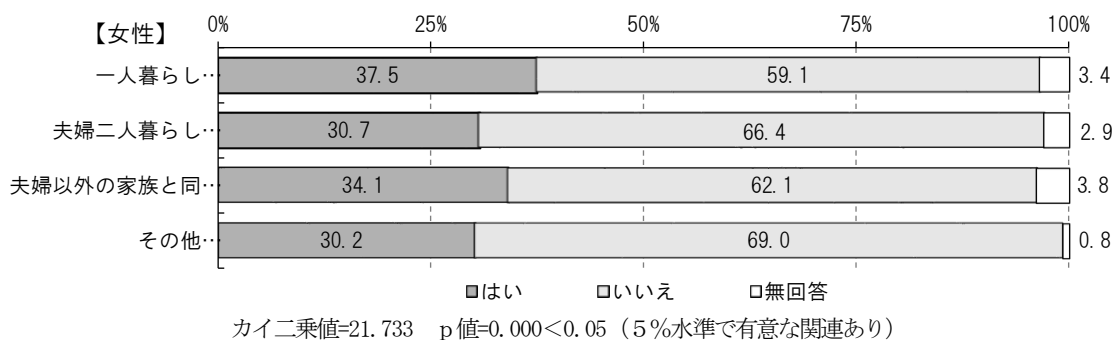
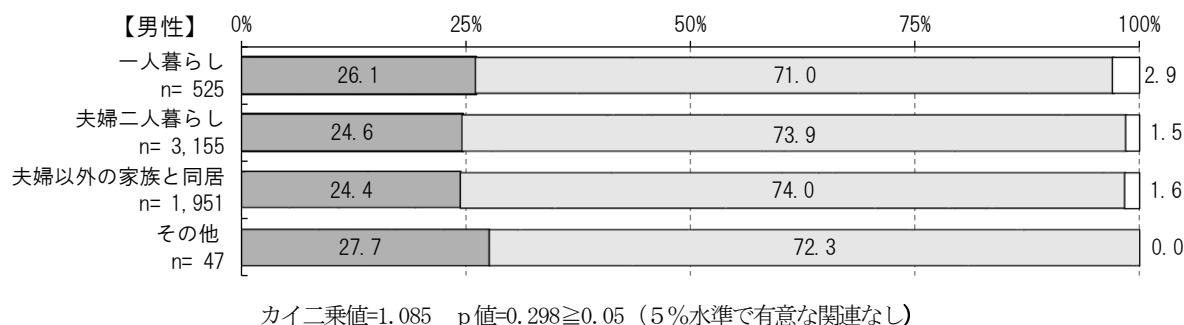
<認知症リスクと運動習慣の関係>

認知症のリスク（問題なし、要注意、要診断）とウォーキング等の週1回以上の運動（運動習慣がある）とは関連があり、「要注意」、「要診断」の該当者では、運動習慣のない人が多い。



<認知症の心配>

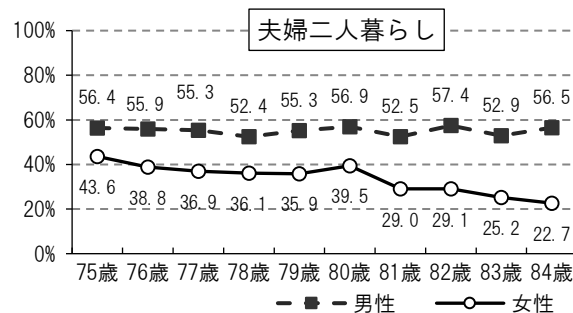
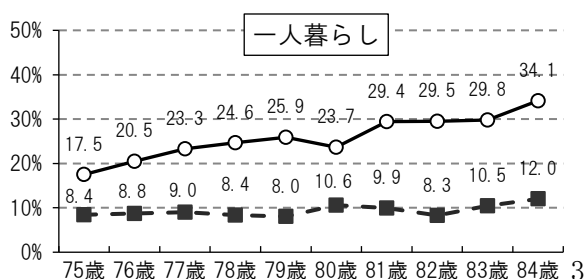
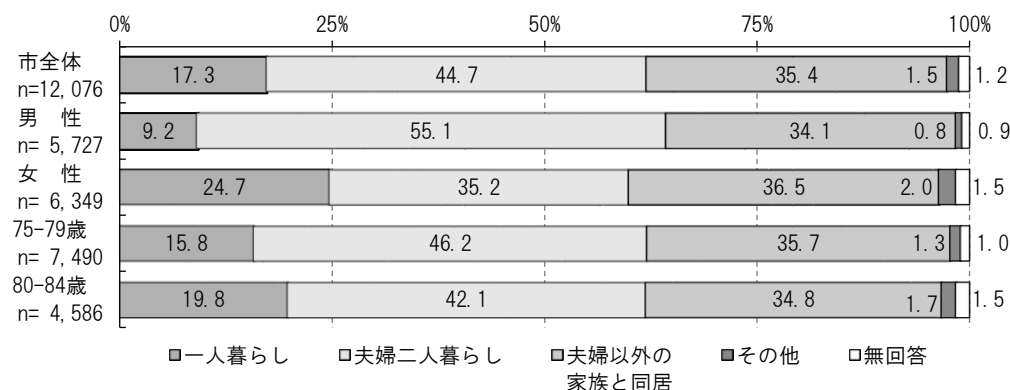
認知症の心配について、男性は家族構成によって差が見られないが、女性は、家族構成によって有意差が見られた。



③ 市独自項目

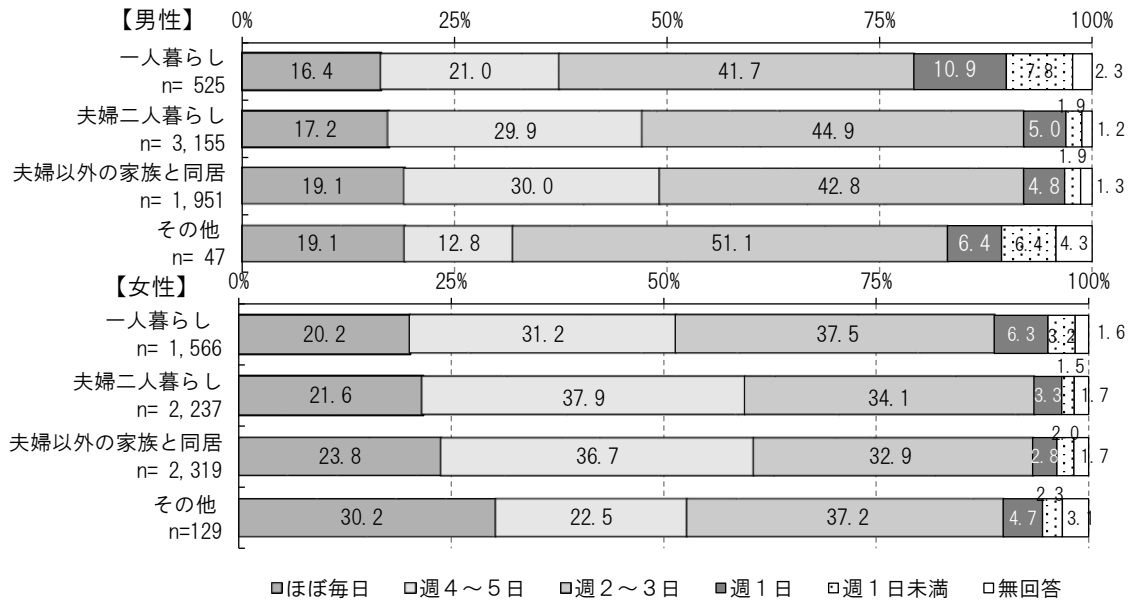
<家族構成>

一人暮らしは、全体では17.3%であるが、男性と女性では差があり、女性では年齢が高くなるにつれ、一人暮らしが増えている。また、男性では、夫婦二人暮らしはほぼ横ばいであるが、女性は年齢が高くなるにつれ、少なくなっている。



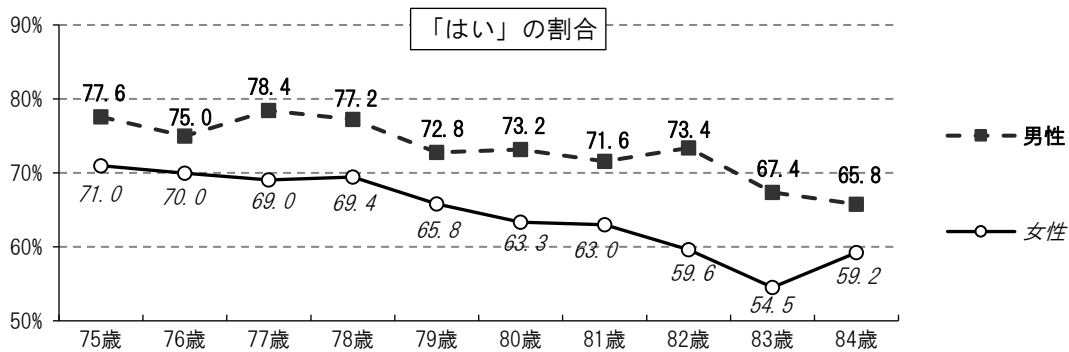
<肉類の摂取頻度>

男性のひとり暮らしでは、18.7%の方が肉類の摂取が週1日以下となっている。



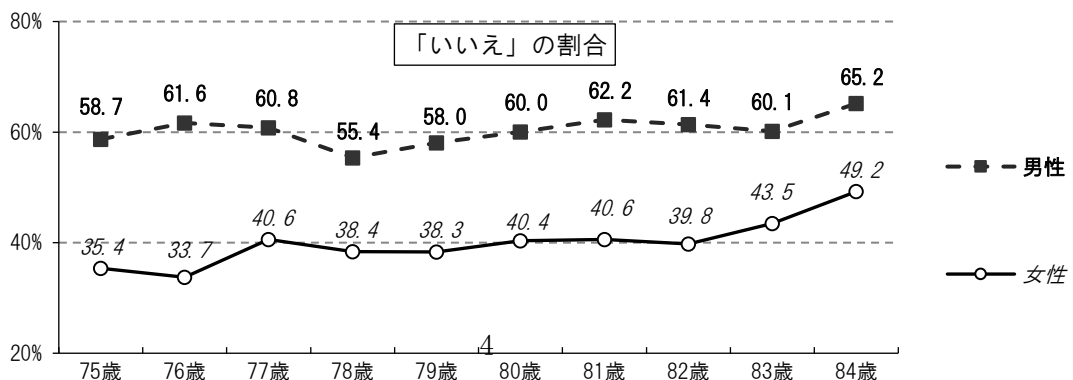
<ウォーキング等の運動状況>

週1回以上、ウォーキング等の運動をしている人は、どの年齢においても男性が多い。また、年齢と共に、割合は減少しているが、84歳の方についても65%以上の人が、何かしらの運動をしている。



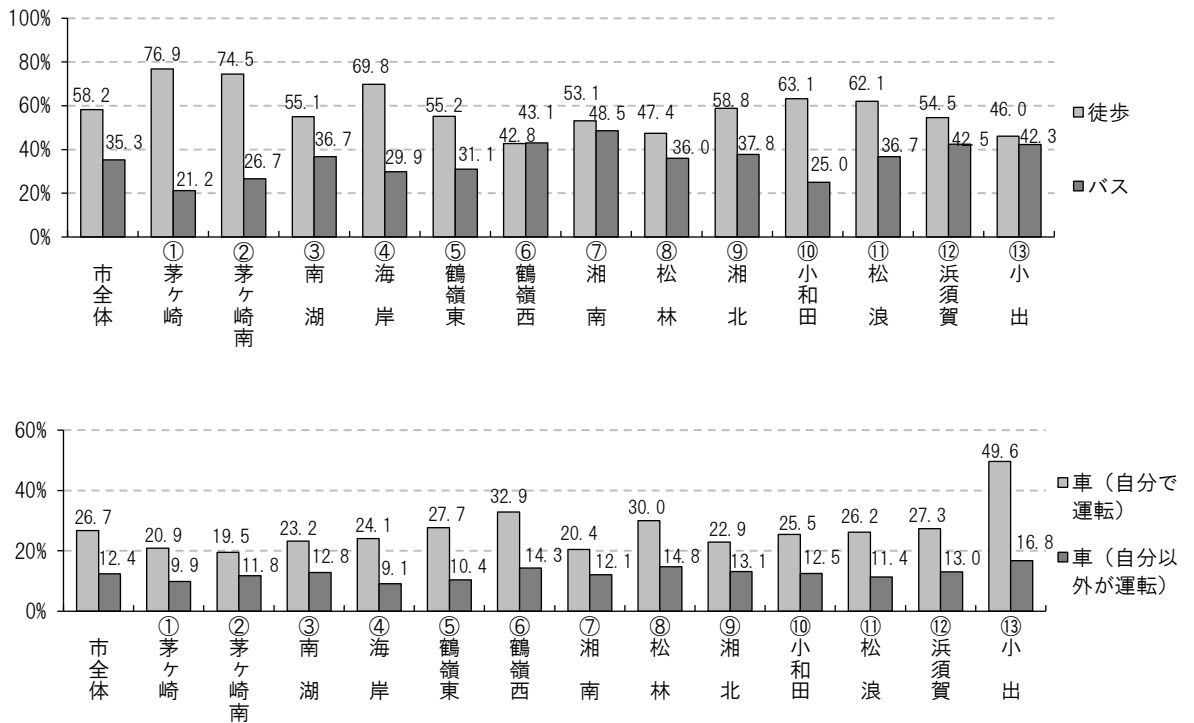
<友人宅への訪問>

友人の家を訪ねていない人の割合は、どの年代でも女性に比べ男性が多い。男性では、半分以上の人が友人宅を訪問していない状況である。



<主な移動手段>

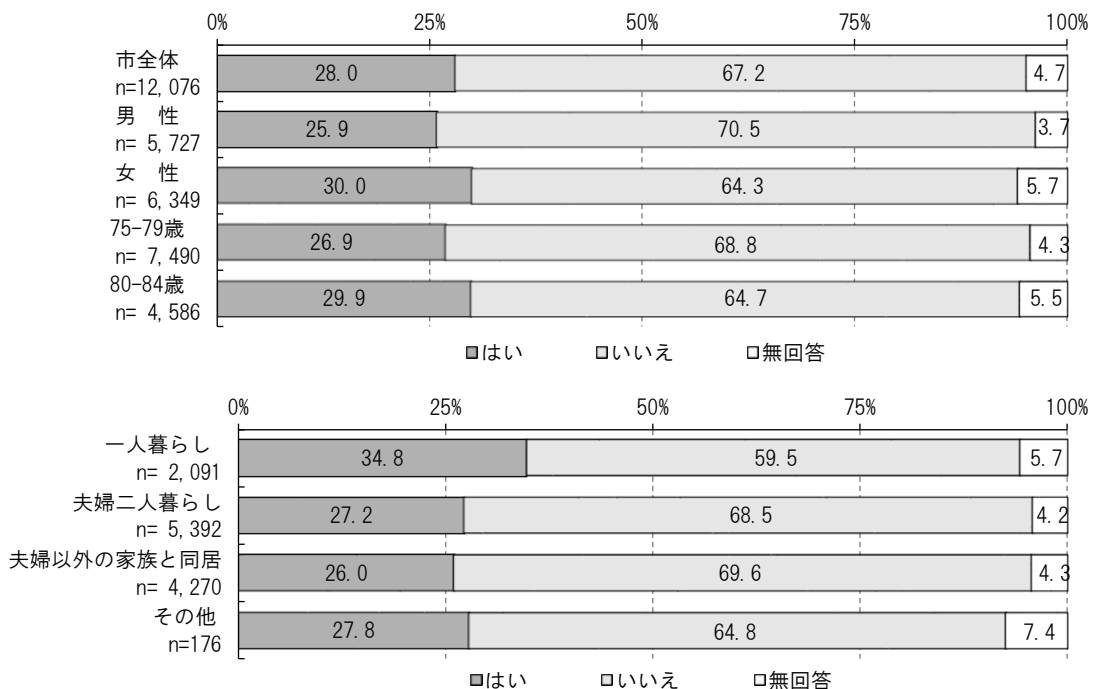
主な移動手段について、茅ヶ崎地区、茅ヶ崎南地区、海岸地区は、徒歩が約70%以上であるが、小出地区では、車での移動、特に自分で運転している人が多い。



<終活への準備>

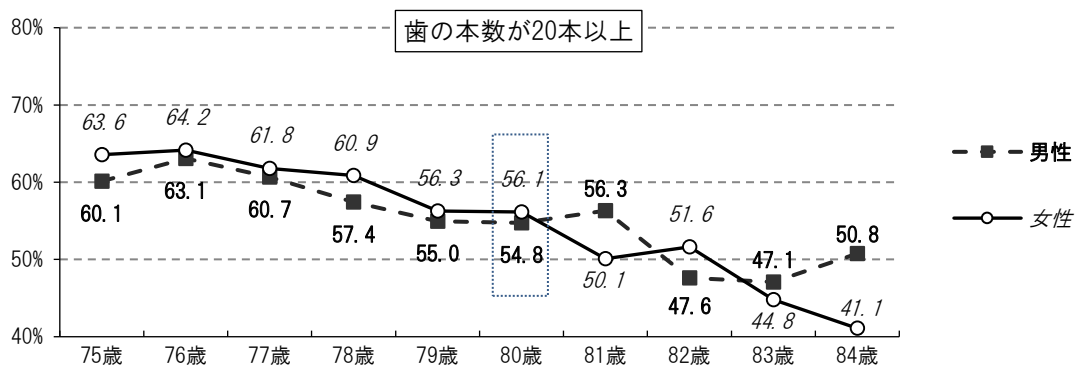
望む最後を迎えるために、何かしらの準備をしている方は、28%である。

一人暮らしの方が、準備をしている人が多い。



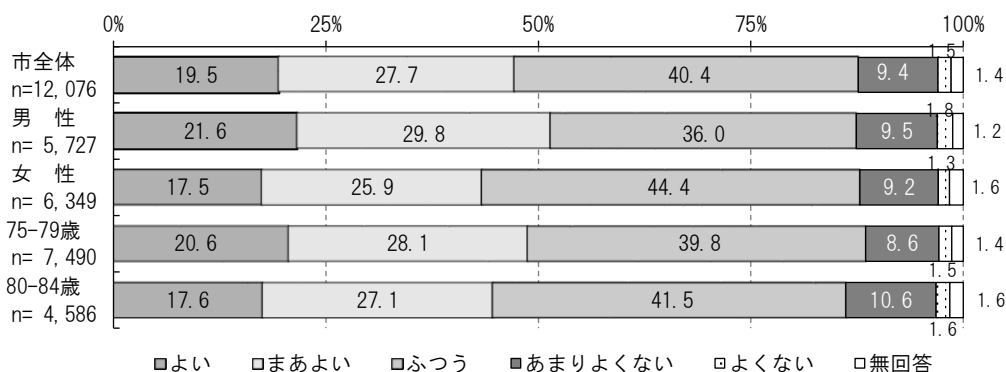
<歯の本数>

80歳で20本以上の歯がある人の割合は、男性54.8%、女性56.1%である。



<健康状態>

性別、年代別においても健康状態はよい、まあよい、ふつうを合せると、約90%である。



<幸福度>

幸福度は、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としたときの、点数であるが、どの年齢においても7点以上である。女性の方がどの年代においても高い。

\*令和元年5月の内閣府の調査（60歳以上の総合主観満足度）によると、男性の平均は6.3点、女性は6.41点

